



日本人と自然Ⅱ

本来の面目を詠ず

新しい日本の伝統音楽

春は花 夏はとどぎす 秋は月 冬雪さえてすずしかりけり 道元



大本山 永平寺 蔵

東北の民俗芸能「鹿踊」や尺八本曲《鹿の遠音》、
箏組歌《四季曲》とともに、
新進気鋭の女流作曲家、桑原ゆう氏に
新作を委嘱し世界初演で聴いていただく、
日本人と自然を題材に
日本の伝統音楽の魅力を凝縮したコンサート。

演目

八橋検校：箏組歌《四季曲》

山登松和(歌、箏)

尺八本曲《鹿の遠音》(やまびこ入り)

善養寺恵介(尺八)、高橋翠秋(胡弓)

民俗芸能 鹿踊《礼庭》

金津流梁川獅子躍(奥州・江刺、岩手県指定無形民俗文化財)

桑原ゆう：《五聖人の四季》—道元・西行—一遍・明恵・良寛—(2021年度 静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)

石川高(笙、聲)、中村仁美(箏)、角田真美(龍笛)、

黒田鈴尊(尺八)、木村麻耶(箏)、

三瀬俊吾(ヴァイオリン)、竹本聖子(チェロ)、本條秀慈郎(三味線)、

高田みどり(打楽器)、川城孝道、室生述成、小路耕徳、末廣正榮(聲明)

構成・演出

田村博巳

14:30より、桑原ゆう(作曲家)と田村博巳(演出家)によるプレコンサートトークがあります。(本公演のチケットが必要です)

2021

12/4 土

15:00 開演(14:00 開場)

静岡音楽館 AOI ホール(8F)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

22歳以下
¥1,000

主催：静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛：静岡信用金庫

協賛：アイワグループ



東日本大震災とそれに伴う原発事故から10年を経て、昨年からの世界的な感染症拡大へ、この間、恐怖と不安に見舞われた天災・人災を数え上げれば枚挙にいとまがありません。

社会が調和を失って閉塞感にとざされている現在においても、道元の言葉は時宜にかなない、春夏秋冬の風光を和歌に詠み込んで豊かな自然と共生交感する西行、一遍、明恵、良寛、それぞれ五聖人たちの声は交響します。新進気鋭の女流作曲家桑原ゆう氏に新作を委嘱し世界初演でお聴きいただく《五聖人の四季》は、民族文化の基層にある“詩歌管絃”の“音聲”に注目した作品で、新しい日本の伝統音楽の魅力が凝縮されています。

また、古典作品とあわせて民俗芸能を取り上げます。日本人の伝統的な季節感を詠んで四季の植物や自然現象を取り出す箏組歌《四季曲》と、秋の深山に妻を恋う鹿の声がこだまとなって響き渡る様を描写した尺八本曲《鹿の遠音》。そして、東北地方の旧伊達藩領に多く分布する長いササラを背にさす「太鼓踊系鹿踊」から、八頭が群舞で躍動する岩手県奥州市の「金津流梁川獅子躍」が登場します。本公演の「本来の面目を詠ず」には、自然がその根元から有している実相を説くことにより、自然と相和し共生して四季折々の移り行きに美と生き甲斐を見出す、日本人の自然観が息づいています。

田村博巳(演出家、静岡音楽館AOI企画会議委員)



山登松和(歌、箏) Showa YAMATO (Vo., Koto)

4歳より山田流箏曲山登派五代家元山登愛子(祖母)に箏の手ほどきを受ける。以後、中能島欣一師に箏、鳥居名美野師に箏、三絃を師事する。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中、増渕任一郎、木原司都子(六代山勢松韻)の各師に師事、安宅賞受賞。1990年、赤坂御所にて御前演奏。94年、国際交流基金派遣専門家としてアフリカ(4カ国)公演に参加。95年、東京藝術大学非常勤助手を務める。99年、山登派七代家元山登松和を襲名、国立劇場にて襲名披露演奏会。2006年、琴古流尺八善養寺恵介氏と古典ユニットZEN YAMATOを結成。2015年、アラブ首長国連邦アブダビにて演奏会。日本伝統文化振興財団賞受賞、文化庁芸術祭優秀賞受賞、松尾芸能賞新人賞受賞。現在、山登会主宰、(公社)日本三曲協会常任理事、山田流箏曲協会理事、跡見学園中学校高等学校講師(箏曲)。



善養寺恵介(尺八) Keisuke ZENYOJI (Shakuhachi)

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中は山口五郎師(人間国宝)に師事。1999年に第1回リサイタルを開催以来、現在に至るまで14回を重ね、2008年、文化庁芸術祭新人賞、2009年、同優秀賞、2017年、同大賞を受賞。2000年、教則本『はじめての尺八』(音楽之友社)を執筆。2002年、日本伝統文化振興財団賞受賞。同年、世界宗教者国際会議(於カンタベリー大聖堂)にて招待演奏。2006年、箏曲山田流の山登松和氏と共に古典ユニットZEN YAMATO結成。2018年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2019年、胡弓の高橋翠秋氏、地歌の藤本昭子氏、義太夫三味線の鶴津澤賀寿氏と共に「古典立脚による新たな邦楽創造」ユニットSATZ結成。2020年、紫綬褒章受賞。東京藝術大学および有明教育芸術短期大学の非常勤講師を経て、古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八普及のための尺八教授活動を行っている。

http://zenyoji.jp



高橋翠秋(胡弓) Suishu TAKAHASHI (Kokyu)

1962年、生田流箏曲家元、川瀬白秋に入門。68年、師範取得、高橋翠秋の名を許され、師と共に歌舞伎黒御簾、舞踊界、三曲界で演奏活動を行い現在に至る。94年より「新・日本音楽抄」に創作を発表。98年、初リサイタル「高橋翠秋 胡弓の栞」開催。NHKテレビ「いろはに邦楽」に「ぼんの芸能」に講師として出演。2010年、リサイタルに対し文化庁芸術祭優秀賞を受賞(以後毎年開催)。2013年、作曲作品《櫻姫》で第2回中島勝祐創作賞受賞。三曲、長唄等演奏会のほか、舞踊、歌舞伎など商業演劇に出演。「カンヌ音楽祭」他スイス、ドイツ、アメリカ等海外公演にも参加出演。2017年、(公財)日本伝統文化振興財団より発売のCD「高橋翠秋 胡弓の栞 月詠抄」に対しレコード部門において芸術祭優秀賞受賞。2019年、芸術選奨文部科学大臣賞受賞。箏、胡弓の手附に加え作曲作品《櫻姫》《舞姫》《雪月花》他舞踊曲、胡弓練習曲など多数。後進の育成にも励んでいる。現在、国立劇場養成課歌舞伎音楽(竹本)研修講師、(公社)日本三曲協会評議員、荒川邦楽連盟理事。



金津流梁川獅子躍 Kanatsuryu Yanagawa Shishiodori

宮城県志田郡松山の次橋村に伝わっていた金津流獅子躍が江刺郡石関村に伝わり、文政11年(1828)栗生沢村に伝授。初代中立・菊池太蔵を始祖とし、以来200年ちかく連続して、産土の神、松尾神社の神事芸能として育まれ、戦前までは金津流栗生沢獅子躍として踊られていた。1978年、岩手県指定無形民俗文化財に認定。アメリカ、ロシア、オーストラリア、パプア・ニューギニア、ブルガリア、台湾、エジプト、イスラエルなどの海外をはじめ国内での公演も多く、64年、東京オリンピック芸術祭、70年、大阪万国博覧会、2004年、文化庁主催「世界伝統芸能フェスティバル」(国立劇場)に出演。世界に獅子躍を紹介し、農村と都市との交流活動に大きく貢献したことが高く評価され、第9回江刺市農業賞を受賞。



高田みどり(打楽器) Midori TAKADA (Perc.)

打楽器奏者・作曲・舞台芸術の分野で活動。1978年、ベルリン放送交響楽団と共演デビュー。バイエルン放送交響楽団と共演、ソリストとして活動始める。さらにアジア、アフリカの多くの伝統音楽家と協働し、伝統音楽の構造を生かした作曲を通して、現在まで世界各地で公演を続けている。90年代より即興トリオTon-Klamiとして佐藤允彦(ピアノ)、カン・テファン(サクソフォン)とジャズ・シーンでも活動。また世界的な演出家、鈴木忠志氏による舞台上に数多く出演し、95年より現在まで演劇公演としてシアター・オリンピックをはじめ、モスクワ・タガンカ劇場、エジナバラ演劇祭等に出演。2017年よりリコ公演としてイギリス・バービカン劇場、ニューヨークThe Kitchen、ロサンゼルスGetty Center等、ヨーロッパ、アメリカを中心に演奏活動。また環境音楽家として、シカゴ美術館、イギリス・ウィリアム&アールバート美術館(Design Museum of Dundee)にサウンドを制作している。おもなアルバムに「Through The Looking Glass」「Lunar Cruise」「Tree Of Life」「Renard Blue」等がリリースされている。



桑原ゆう(作曲) Yu KUWABARA (Composer)

1984年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院音楽研究科修了。国立劇場、神奈川県立音楽堂、横浜みなとみらいホール、箕面市立メイプルホール、I&I Foundation(スイス)、Cresc...ピエンナール(ドイツ)、トランジット音楽祭(ベルギー)等、国内外で委嘱を受ける他、ダルムシュタット夏季現代音楽講習会、ウルトラジャール・ベルリン(以上ドイツ)、モストラ・ソノラ・スエ(スペイン)、ルツェルン音楽祭(スイス)、ロワイヨモン作曲講習会(フランス)、ミラノ国際博覧会(イタリア)、ミュージックフロムジャパン(ニューヨーク)、トロン国際音楽祭(韓国)等、各地の音楽祭や企画等で作品が取り上げられている。聲明、神楽、民俗儀礼等の取材を重ね、日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主軸に創作を展開。第31回芥川也寸志サントリー作曲賞ノミネート。「淡塵」メンバー。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。



田村博巳(演出家) Hiromi TAMURA (Producer)

1955年、東京生まれ。1979年、慶應義塾大学文学部社会学科卒業。81年より国立劇場(日本芸術文化振興会)勤務。国立劇場制作部長、新国立劇場・おきな委員長、国立劇場調査養成部長を歴任。95年より静岡音楽館AOI企画会議委員。民俗芸能、雅楽、聲明(仏教音楽)を中心に日本の伝統芸能公演を企画制作し、民俗儀礼や口頭伝承の研究に立脚した創作を舞台芸術作品として構成演出する。また、古典芸能の保存・継承とともに作曲家など協同して、伝統の素材を現在の視点でとらえた意欲的的作品を数々発表する。これまでに、国立劇場(88~99)および国立文楽劇場(2004~06)主催の公演制作をするほか、本多劇場「劇」小劇場プロデュース公演「伝統芸能シリーズ」[楽の庭I~IV] (97~2000)やスバイラル聲明コンサートシリーズ「千年の聲vol.1~24」(98~2016)などで継続的に演出している。

当公演は、新型コロナウイルス感染症予防措置の徹底を前提として、定員の100%の客席を使用しているの発売となります。発売後、状況により国及び静岡市の指針が厳しくなった場合、条件によっては払戻を伴う再販売をさせていただく場合がございます。また、状況により発売日を変更させていただく場合がございます。ご不便をお掛けし誠に恐縮ですが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

チケットお取扱

静岡音楽館AOI・インフォメーション (7F)

Tel.054-251-2200 (月 休)

- * 受付時間9:00~21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いたします。
- * クレジットカードでお支払いいただけます。

静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231 (土・日・祝 休)
チケットびあ(Pコード: 187-155) Tel.0570-02-9999
セブンイレブン、ファミリーマート(一部地域・店舗を除く)など

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更はいたしかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム時計等の使用はご遠慮ください。
- * 演奏中のご入場はお控えください。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください。1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 未就学児はご入場いただけません。

要事前予約(2週間前まで)
託児料: 1人1,000円
対象: 生後6ヶ月~小学生
静岡音楽館AOI TEL.054-251-2200(月休)

申込時に、保護者名、お子様の氏名、年齢、性別をお伝えください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局 合同建物内

至 浜松 (有料) P AOI (有料) P 静岡市美術館 松坂屋 国道1号線 至 東京

至 浜松 駐輪場(有料) ● 丸ビル系 JR静岡駅 至 東京

東海道本線・新幹線 ● 静岡科学館のく・る

*当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!

CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

開館 9:00~21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL 054-251-2200 AOI 検索

一般発売 6月19日[土]より

会員先行発売 6月12日[土]より